平成 22 年 1月 1 日
第 32 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602



2010 年 年頭所感
原田憲一郎

力強くしなやかな寅年に

あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと思います。「八方原の環境を守る会」は発足して3回目のお正月を迎えることとなりました。この間、会員並びに地域の方々のご協力で順調に活動を行うことができ、厚く御礼申し上げます。

昨年は長引く景気の低迷、政権の交替等数多くの出来事がありましたが、なかでも私たちの身近で、最も記憶に新しい出来事は7月21日早朝から襲来した集中豪雨ではなかったでしょうか。降り出してから瞬く間に八方原平野の農地は大海原と化し、一部の住宅・事業所は在所できないほど浸水し、全く手の施しようがないほどの水害でした。被害に遭われた方々にあらためてお見舞いを申し上げます。

その後、近隣の被害状況が判明するにつけ、特に椹野川もあと数十センチ水かさが上がれば、決壊のおそれもあったと聞き、八方原農地の保水力の豊かさ、逞しさを一段と確認した状況でもありました。

「八方原の環境を守る会」は、この住み良い農地を中心とした環境を守ることは勿論ですが、今後予想される水害や様々な自然災害から、被害を最小限に食い止めることにも大きく貢献できることだと、あらためて痛感したところでした。

今年こそ景気も上昇し、台風・地震などの災害も無く平穏な毎日が過ごせるように祈念して止みません。

この「やかたばら環境通信」は発行以来、今号で32号を迎えることとなりました。お陰さまで多くの方々から記事の情報や励ましの声をいただき、この場をお借りし厚く御礼申し上げますとともに、今後とも一段と親しめる紙面になるよう努力してまいる所存であります。

おわりに、三年目を迎えたこの会の活動になお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げるとともに各位のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。

描いてみよう「農村環境の未来図」

「農村環境の未来を考える研修会」が12月2日、山口県総合保健会館で開催され県内各地から600人を超える参加がありました。

中国農政局長勝山達郎氏が農環境を取り巻く環境を世界的な視野で解説してくれました。地域資源の活用と研究機関との連携など興味深い内容でした。



特に新たな視点として「グローバルに考え、ローカルに対応」というサブタイトルを示しました。広い状況を把握しながら、その土地に最適なものを探すと言うような意味とも取れるものです。

事例の発表では阿武町農業法人「福の里」女性部会長中野逸子氏は、ご自身の小菊栽培の成功を手始めに地域の特産品の加工販売を手がける積極的な取り組みを紹介してくれました。小菊生産年間25万本という気の遠くなるような作業をこなし、稲作2・5haを殆ど一人で切り盛りするというスーパレディでした。農産加工の作業も深夜2時からの作業とか、そのバイタリティには会場が静まり返りました。

親子で楽しむクリスマス

八方原子ども会は12月13日、クリスマス会を公民館で行い、楽しいひとときを過ごしました。



ツリーの飾りとケーキづくり、楽しそう

用意されたツリーに手づくりの飾り付けを行いクリスマス会らしく仕上げました。保護者の方々も楽しみながらお手伝い。用意したスポンジケーキにクリームをのばして、立派なクリスマスケーキが出来上がりました。

テーブルの上にはサンタの持ってきたプレゼントの包みが並んでいました。何が入っていたのかな？

昔の公民館の時代には天井まで届くようなツリーがあった時代もありました。今では少し様子が変わって、子どもたちの年末行事の一つとなりました。

市長からのお答えは

7月の豪雨災害について、今後の対策を市に陳情しました。その回答がこの度市長から返ってきました。

市長は、「市の防災対策の基準として10年に一度程度の風水害を防ぐこととしているが、当地区の設備はそれを充分に上回るものである。今回のような大規模で急激なものには対応できなかったとしてもやむを得ない」としています。

また東側斜面の崩落防止ついては、「県営の治山事業による対策が必要であり、早期実現に向けて県に要望していく」との内容でした。

いずれの問題も今後要望を続けていく必要があると考えています。関係各位のお力添えをよろしくお願いいたします。

市道が水道工事のために一時通行止めになります

水道配水管工事が始まります。昨年11月の元橋配水池の廃止に伴い、現在1系統の配水となっていますが、緊急の場合などに備えて新町側から新たな配水管を引くことになりました。

工事は1月の終わりから約2か月間で、新町から八方原橋を渡り、バス通りを高山造庭園まで約600メートルの工事となります。

この間、市道は一部車両の通行ができない時期があります。車両は南北の出入口に迂回させられることがあると思いますが、なにとぞご協力ください。

歩行者自転車は通行できますが、定期バスの路線は一時的に県道経由となります。

工事の詳細説明は担当課よりの回覧などの資料が来ますので、それらをご熟読ください。

中国四国大学駅伝で活躍



12月6日、中国四国学生駅伝競走大会が山口市仁保地区を中心にしたコースで行われました。

各地から28チームがエントリー、6区間53・5kmの熱戦を繰り広げました。このレースに広島修道大学1年原田裕基君（写真・原田広文さん長男）がエース区間の3区（12・5km）のランナーとして出場しました。

裕基君は区間8位の快走を見せてくれましたが、チームは総合12位ともう一つの成績でした。次回の奮闘を祈りましょう。

歳末助け合いご協力に感謝

本年度最後の募金活動、「歳末助け合い」にご協力ありがとうございました。地区では41500円が集まりました。



岡田川沿いに仕掛けられたイノシシ罠に11月の終わり、一頭のイノシシがかかりました。山鯨ともいわれるイノシシ、ところによっては地域おこしに利用しているところもあるようです。